

キャバン州（アイルランド）*

キャバン州内を走る道路およそ 3,000km の道路脇を道路管理者による通常清掃で賄うことは財政的に不可能であった。ごみの責任者は、学校で意識向上に向けた啓発を実施するなど積極的に働きかけたりもしたが、結局は、自発的な行動ではなく、無理やりゴミ拾いをさせている感がぬぐえなかった。このギャップは、従来の予算と方法では埋めることは難しかった。

これに併せて、事業者と関わって事を進めること、単なる意識向上・啓発でなく、企業セクターを含めた郡全体を、散乱ごみや廃棄物の問題に関心を持ってもらうことが目標にあった。

道路のアダプト・プログラムは2004年4月に最初に導入された。アダプト・プログラムは米国大陸で広く導入されており、WEB サイトや担当者などから情報を収集し、仕組みを学んだ。しかしながら、米国の仕組みには、さまざまな種類と幅があった。そこで、キャバン郡では、自分達の郡に適した仕組みを適用しようと考えた。



Adopt A Road

The Adopt-A-Road scheme facilitates local businesses and local County Councils to maintain litter levels on the verges of roads. In return the local businesses benefit from advertising.

(c) Comhar Sustainable Development Council

このプログラムによって企業は、潜在的顧客に向けて社会貢献（CSR）のアピールできると共に、宣伝広告というメリットが得られる。行政（州）は、無料で道路脇を定期的に清掃管理してもらえるとというメリットが得られる。

指定された区間の道路は、アダプトしたい企業へ分配される。州議会は、その区間をアダプトした企業のサインボードを道路脇に設置する。そして、企業は州議会と管理契約を合意する。この合意によって、道路脇の清掃を年に4回行なうことが活動内容に含まれることとなる。清掃活動が完了すると、州議会のごみの入った袋を回収する手配をする。このプロジェクトは、キャバン州議会の廃棄物管理部門が管理する。

プログラムの立ち上げ時は、狙いを定めた候補の企業に、プログラムの概要を説明し参加を促した。このアイデアは、直ちに非常に有名な3社の企業によって受け入れられた。この立ち上げは、地方メディアによって報道されたことで、広まった。今ではアダプト・プログラムの仕組みは、毎日ごみに携わる仕事をしている散乱ごみおよび廃棄物の管理者によって広められた。

今では、アダプト・ロードのサインボードは、キャバン州のあちこちに設置されており、サインボードそのものがプログラムの宣伝を兼ねている。この仕組みは、このほかにも自分達の住む近隣の地域をきれいにしたいというコミュニティ団体や個人によって受け入れられた。

散乱ごみ管理者は、すべてのアダプト・プログラム参加者、団体、企業は、合意した内容通りに清掃活動を実施しているかを確認する。この仕組みは非常にうまく行き、当初設定した3つの目標を達成した。①州議会に一切のコストをかけずに道路脇の清掃を定期的実施することが実現できた。②企業セクターを巻き込むことができた。③企業セクターおよび一般市民に対して、散乱ごみや廃棄物の問題に関心を持たせることが出来た。

*出所：

<http://www.askaboutireland.ie/reading-room/environment-geography/greening-communities/going-greener/waste-prevention-and-reduction/adopt-a-road/index.xml>